

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年4月6日（火）

2 確認箇所

- ・ 5号機タービン建屋南側
（5・6号機サブドレン集水設備（中継タンク）設置予定地）
- ・ 新事務本館緊急時対策室

3 確認項目

- （1） 5・6号機サブドレン集水設備復旧工事の状況
- （2） 雑固体廃棄物焼却設備における油の漏えい

4 確認結果の概要

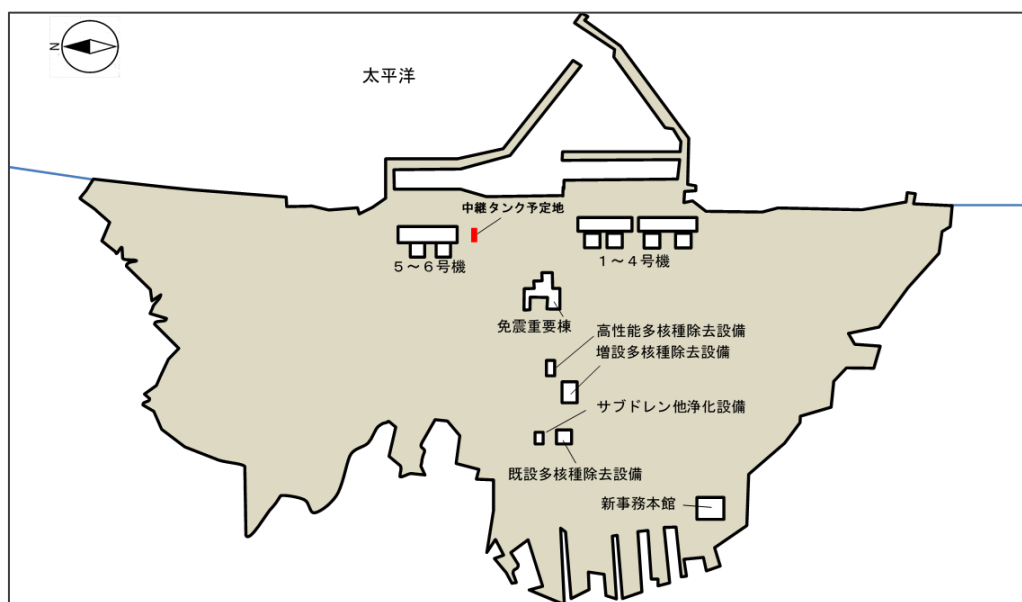
- （1） 5・6号機サブドレン集水設備復旧工事の状況について

5・6号機サブドレン集水設備復旧工事^{*}の状況について確認した。（前回確認日：令和2年9月9日）（図1）

- ・ 配管や配管サポート材等の資機材が準備され、また測量等の作業が行われていた。（写真1）

※5・6号機サブドレン集水設備復旧工事

5・6号機建屋への地下水流入を抑制するため、東日本大震災以降、稼働を停止している5・6号機建屋周辺のサブドレン設備を復旧し、集水した地下水を中継タンクを経由して既存の1～4号機サブドレン集水タンクに移送する設備を整備する工事。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

5・6号機サブドレン集水設備中継タンク予定地の状況①
配管が準備されていた。



(写真1-2)

5・6号機サブドレン集水設備中継タンク予定地の状況②
配管サポート材が準備されていた。

(2) 雑固体廃棄物焼却設備における油の漏えいについて

本日11時30分、雑固体廃棄物焼却設備建屋の雑固体焼却炉Bの二次燃焼器バーナ配管フランジ下部に油の漏えい跡があることを協力企業作業員が発見したことから新事務本館緊急時対策室にて情報収集を実施した。その内容は下記のとおり。

- ・漏えい範囲は50cm×60cm×厚さ1mmで、油は受けパン内に留まっているとのこと。
- ・フランジ部からはにじみが確認されたが滴下はしていない。
- ・漏れた油は軽油とのことであり、12時30分に公設消防が「危険物の漏えい事象」と判断した。

なお、東京電力によればその後漏えいした油の処理については拭き取りを行い13時に完了したとのことであった。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。